

2023年7月25日

各 位

会 社 名 株式会社モバイルファクトリー
代表者名 代表取締役 宮脇 裕二
(コード：3912 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員 佐藤 舞子
(TEL. 050-1743-6211)

IEO検討開始（発行体の変更）に関するお知らせ

当社は、2022年10月18日に「当社子会社とGMOコイン株式会社によるIEO検討開始に関するお知らせ」を公表し、当社の100%出資子会社である株式会社ビットファクトリーを新規暗号資産（QYSコイン）の発行体として検討を進めておりましたが、本日開催の取締役会において、その発行体を当社へ変更することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本決議はIEOを検討するにあたり、発行体の変更を決議したものであり、QYSコインの発行を決議したものではありません。必要とされる審査がとおり発行することが決まり次第、改めて開示いたします。

※IEO (Initial Exchange Offering) : 暗号資産取引所が審査をして自社取引所に上場させる資金調達方法。

※IEOについては、今後の暗号資産交換業者自身による販売の可否の審査を経て、暗号資産交換業者が日本暗号資産取引業協会から販売について承認を得る必要があります、その実現を保証又は約束するものではありません。

記

1. 発行体の子会社とした背景

ブロックチェーン事業における各サービスの配信は、子会社である株式会社ビットファクトリーが行っており、2020年にリリースいたしました「駅メモ! Our Rails (略称:アワメモ!)」を始めとし、将来的にはWeb3の要素を搭載した多種多様なサービスの拡充を図るべく、QYSコインを利用することで、新たなエンターテインメントを創造するため、併せて子会社である株式会社ビットファクトリーで発行することといたしました。また、暗号資産においては、会計的な論点等を踏まえた制度設計や整備が定まっておらず、不透明な状況が続いていることから、機動的な対応が比較的容易である子会社が望ましいと判断しておりました。

2. 発行体の変更となった経緯

当社グループは、QYSコインでのIEOに向けて、暗号資産交換業を営むGMOコイン株式会社の審査基準を満たすべく準備を進めるなかで、組織やガバナンス体制が整っている上場企業である当社を発行体とすることが望ましいと判断いたしました。なお、発行体の変更以外の変更はありません。

以 上